

2020年度事業報告書
2020年10月1日から2021年9月30日まで

法人名:NPO法人IBDネットワーク

1 事業の成果

2020年度はコロナ禍により計画した事業を実施できないものもあったが、正会員においてオンラインツールを用いた会議回数増と交流会・医療講演会等が活発に行われた。

(1)特定非営利活動に係る事業

①情報収集と発信に関する事業

ホームページを全面刷新した。合同会報の発行、「IBDを理解する日」のFacebookを用いたカウントダウン告知を実施した。コロナ禍での「IBDを理解する日」の活動としてマスクケースを作成し、会員だけでなくJPA加盟団体にも無償提供した。

②IBD患者の支援に関する事業

IBD患者の栄養療法について情報収集を行った。

③IBD患者団体の支援に関する事業

コロナ禍での総会、理事会、エリア交流会等は、WEB開催の優位性を生かし参加者増、開催回数増とした。エリア啓発事業は姫路に続き熊本でも開催した。

④政策提言及び調査研究に関する事業

厚生省要請、受給者証更新延期要請、IBD製薬会社との意見交換や調査協力を実施した。また理事による就労に関わる著作の公開を実現した。

⑤その他、この法人が目的を達成するための事業
実施していない。

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
① 情報収集と発信に関する事業	・ホームページを刷新した。	通年	法人事務所	2人	国内 1.2億人	508
	・合同会報を作成した。	年4回	法人事務所	5人	国内のIBD患者 180,000人	0
	・「IBDを理解する日」イベントを実施し、各会に資材を提供した。	年1回	国内	10人	国内 1.2億人	760
② IBD患者の支援に関する事業	・総会で個人患者を支援する枠組みを検討した。	11月	国内	30人	国内のIBD患者 180,000人	0
③ IBD患者団体の支援に関する事業	・総会で災害時支援マニュアルを全面改訂し、学習した。	11月	国内	35人	国内のIBD患者団体 50団体	173
	・360度カメラを導入し遠隔参加を促進した。	年2回	国内	30人	国内のIBD患者 180,000人	127
	・姫路に続き熊本でライトアップによる啓発事業を行った。	通年	国内	8人	国内のIBD患者団体 50団体	77
④ 政策提言及び調査研究に関する事業	・国会及び厚生労働省要請活動、就労支援活動を実施した。	11月	国内	3人	国内のIBD患者 180,000人	241
	・地域活動を理解する運営委員を増強し、地域政策事業に取り組んだ。	通年	国内	10人	国内のIBD患者団体 50団体	0
	・IBD製薬企業等との情報交換を実施した。	2月ほか	国内	8人	国内のIBD患者 180,000人	0